

REPLACED BY
ART 34 AMDT

特許協力条約

PCT

REC'D 15 JUL 2004

WIPO

PCT

10/510919

Rec'd PCT/PPO 12 OCT 2004

国際予備審査報告

(法第12条、法施行規則第56条)
[PCT 36条及びPCT規則70]

出願人又は代理人 の書類記号 FNSK0210PCT	今後の手続きについては、国際予備審査報告の送付通知（様式PCT/IPEA/416）を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP03/04488	国際出願日 (日.月.年) 09.04.2003	優先日 (日.月.年) 11.04.2002
国際特許分類 (IPC) Int. C17 B62D6/00, F02D29/02, F02D45/00, B60G 17/015, B60R16/02		
出願人（氏名又は名称） 日本精工株式会社		

1. 国際予備審査機関が作成したこの国際予備審査報告を法施行規則第57条（PCT 36条）の規定に従い送付する。

2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 3 ページからなる。

この国際予備審査報告には、附属書類、つまり補正されて、この報告の基礎とされた及び／又はこの国際予備審査機関に対して訂正を含む明細書、請求の範囲及び／又は図面も添付されている。
(PCT規則70.16及びPCT実施細則第607号参照)
この附属書類は、全部で 4 ページである。

3. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。

- I 国際予備審査報告の基礎
- II 優先権
- III 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
- IV 発明の単一性の欠如
- V PCT 35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
- VI ある種の引用文献
- VII 国際出願の不備
- VIII 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 11.11.2003	国際予備審査報告を作成した日 24.06.2004
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官（権限のある職員） 大谷謙仁 電話番号 03-3581-1101 内線 3380
3Q 9433	

I. 国際予備審査報告の基礎

1. この国際予備審査報告は下記の出願書類に基づいて作成された。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差し替え用紙は、この報告書において「出願時」とし、本報告書には添付しない。
PCT規則70.16, 70.17)

出願時の国際出願書類

明細書 第 1-21 ページ、
明細書 第 _____ ページ、
明細書 第 _____ ページ、

出願時に提出されたもの
国際予備審査の請求書と共に提出されたもの
付の書簡と共に提出されたもの

請求の範囲 第 _____ 項、
請求の範囲 第 _____ 項、
請求の範囲 第 _____ 項、
請求の範囲 第 7, 10, 11-15 項、

出願時に提出されたもの
PCT19条の規定に基づき補正されたもの
国際予備審査の請求書と共に提出されたもの
2004.03.19 付の書簡と共に提出されたもの

図面 第 1-24 ページ/図、
図面 第 _____ ページ/図、
図面 第 _____ ページ/図、

出願時に提出されたもの
国際予備審査の請求書と共に提出されたもの
付の書簡と共に提出されたもの

明細書の配列表の部分 第 _____ ページ、
明細書の配列表の部分 第 _____ ページ、
明細書の配列表の部分 第 _____ ページ、

出願時に提出されたもの
国際予備審査の請求書と共に提出されたもの
付の書簡と共に提出されたもの

2. 上記の出願書類の言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願の言語である。

上記の書類は、下記の言語である _____ 語である。

- 國際調査のために提出されたPCT規則23.1(b)にいう翻訳文の言語
 PCT規則48.3(b)にいう国際公開の言語
 国際予備審査のために提出されたPCT規則55.2または55.3にいう翻訳文の言語

3. この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでおり、次の配列表に基づき国際予備審査報告を行った。

- この国際出願に含まれる書面による配列表
 この国際出願と共に提出された磁気ディスクによる配列表
 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された書面による配列表
 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された磁気ディスクによる配列表
 出願後に提出した書面による配列表が出願時における国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった
 書面による配列表に記載した配列と磁気ディスクによる配列表に記録した配列が同一である旨の陳述書の提出があった。

4. 補正により、下記の書類が削除された。

明細書 第 _____ ページ
 請求の範囲 第 1-6, 8, 9 項
 図面 図面の第 _____ ページ/図

5. この国際予備審査報告は、補充欄に示したように、補正が出願時における開示の範囲を越えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c)) この補正を含む差し替え用紙は上記1.における判断の際に考慮しなければならず、本報告に添付する。)

V. 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条（PCT35条(2)）に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲	1 5	有
	請求の範囲	7, 10, 11-14	無
進歩性 (I S)	請求の範囲	7, 10, 11-15	有
	請求の範囲		無
産業上の利用可能性 (I A)	請求の範囲	7, 10, 11-15	有
	請求の範囲		無

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

文献1 : J P 6-342302 A (マツダ株式会社) 1994. 12. 13
 文献2 : J P 2001-107766 A (株式会社日立製作所) 2001. 0

4. 17

文献3 : J P 2001-130351 A (株式会社日立製作所) 2001. 0

5. 15

文献4 : J P 3-235761 A (日産自動車株式会社) 1991. 10. 21
 文献5 : J P 9-142256 A (三菱電機株式会社) 1997. 06. 03

請求の範囲 7, 10, 11-14 に係る発明は、国際調査報告で引用された文献1 の第19欄第1行-第25欄第13行に記載されているので、新規性、進歩性を有しない。請求の範囲 7, 10 に係る発明は、文献2 又は文献3 (第10欄第33行-第44行) と上記文献1 とにより進歩性を有しない。

請求の範囲 15 に係る発明は、上記文献1、文献2 又は文献3 (第10欄第33行-第44行) と文献5 (第8欄第37行-第9欄第34行) とにより進歩性を有しない。

請求の範囲

1 (削除)

5

2 (削除)

3 (削除)

10

4 (削除)

15 5 (削除)

6 (削除)

20

7 ^(技術的) 車両特性を自由な任意の特性に設定する複数の車両特性設定部と、前記設定された車両特性を記憶する車両特性記憶部と、前記車両特性記憶部の中から任意の車両特性を選択する車両特性設定選択部とを具備した車両特性を変更可能な車両において、

25 車両特性を制御する各制御ユニットが、製造時に設定されたデフォルト特性を記憶するデフォルト特性記憶部と、前記車両特性設定部の設定

が有効か無効かを判定する設定特性判定部と、前記設定特性判定部で切換えられる切換スイッチとを具備するとともに、

前記設定特性判定部が有効と判定したときに、前記車両特性設定部の設定データを前記各制御ユニットに送信するように前記切換スイッチを切換え、前記設定特性判定部が無効と判定したときに、前記デフォルト特性記憶部の記憶データを前記各制御ユニットに送信するように前記切換スイッチを切換えるようになっている車両特性を変更可能な車両。
5

8 (削除)

10

9 (削除)

15 10 ^(補助後)ステアリングシャフトに発生する操舵トルクに基いて演算された操舵補助指令値と、モータ電流検出値と、から演算された電流指令値に基いてステアリング機構に操舵補助力を与えるようにモータを制御する電動パワーステアリング装置の制御装置において、

運転者がステアリング特性を任意に設定可能なステアリング特性設定手段と、
20 手段と、

前記ステアリング特性設定手段で設定したステアリング特性ごとに、それを記憶しておくための複数のステアリング特性記憶手段と、

前記記憶された複数種類のステアリング特性の中から所望のステアリング特性を選択するためのステアリング特性選択手段と、

25 製造時に設定されたデフォルトのステアリング特性を記憶するデフォルト特性記憶手段と、

前記ステアリング特性が予め定めた安全基準に照らして有効か無効かを判定する設定特性判定手段と、
をさらに有するとともに、

前記設定特性判定手段で無効と判断された時に、前記デフォルトのステアリング特性に基づいて前記モータを制御することを特徴とする電動
5 パワーステアリング装置の制御装置。

1 1~~箇~~少なくとも前記ステアリング特性設定手段とステアリング特性選
10 択手段とを含むステアリング特性設定／選択ユニットが、

前記電流指令値を演算する電流指令演算部とシリアル通信によって接続されていることを特徴とする請求の範囲第10項に記載の電動パワーステアリング装置の制御装置。

15 1 2~~箇~~前記ステアリング特性は、少なくとも、入出力特性と車速感応特性を含むものであることを特徴とする請求の範囲第10項又は第11項に記載の電動パワーステアリング装置の制御装置。

20 1 3~~箇~~前記ステアリング特性設定手段にG U I を用いたことを特徴とする請求の範囲第10項乃至第12項のいずれかに記載の電動パワーステアリング装置の制御装置。

25 1 4~~箇~~請求の範囲第10項乃至第13項のいずれかに記載の電動パワー

ステアリング装置の制御装置が搭載された請求の範囲第7項に記載の車両特性を変更可能な車両。

- 1 5(6)車両特性を自由な任意の特性に設定する複数の車両特性設定部と、
5 前記設定された車両特性を記憶する車両特性記憶部と、前記車両特性記憶部の中から任意の車両特性を選択する車両特性設定選択部とを具備した車両特性を変更可能な車両において、
前記車両にイモビライザーをさらに具備し、前記車両特性設定選択部を前記イモビライザー内に設け、前記設定された複数の車両特性ごとに
10 前記イモビライザーのキーを設定したことを特徴とする車両特性を変更可能な車両。